

が ん の 死 亡 状 況

死亡の概要

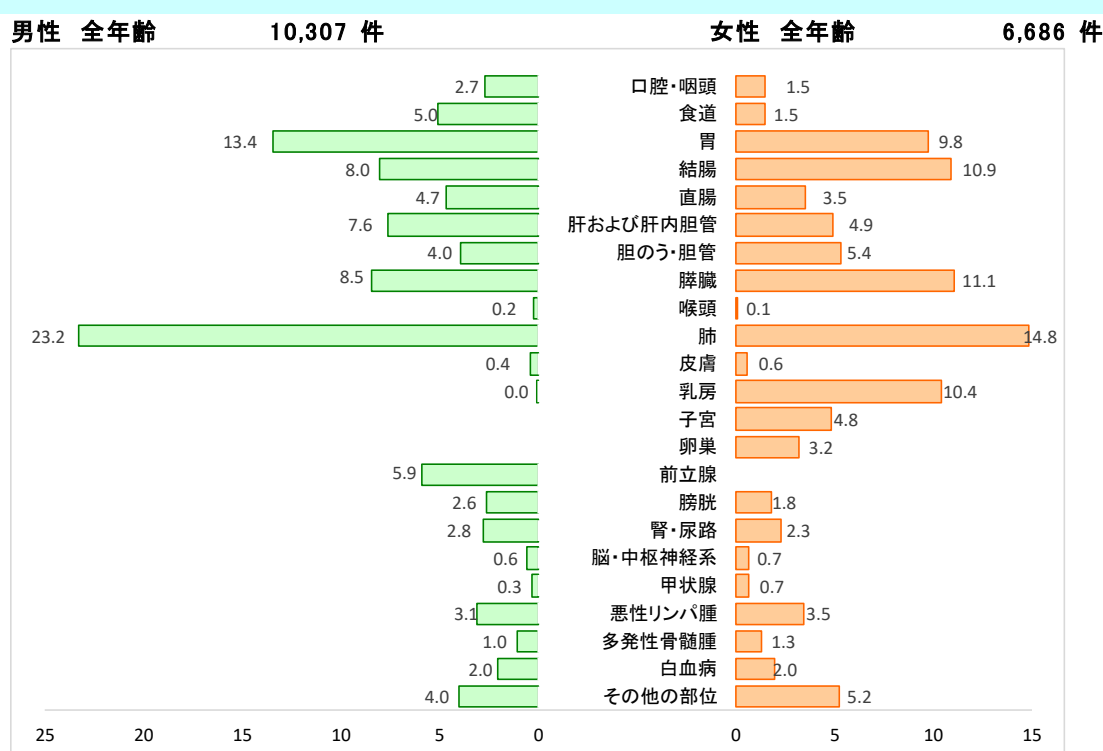
2018年に千葉県において、男性10,307人、女性6,686人、総数16,993人の方が、がんを原因として死亡した。

部位内訳においては、男性では、肺がんが最も多く、胃、膵臓、結腸、肝および肝内胆管と続く。罹患部位として比較的多かった前立腺は（図1）、死因としてはそれほど多くはないことがわかる。女性では、罹患

部位で乳房が最も多くを占めたが（図1）、死因としては、肺がんが最も多く、膵臓、結腸、乳房、胃と続く。

肺において、男女とも罹患割合と比較し死亡割合が大きい（図12）。これは肺の診断時病期の遠隔転移割合が大きいことと関連があると推察される。

図12 部位内訳（%）（表9から作成）



千葉県のがんの死亡の特徴

千葉県の年齢調整死亡率は、全国と比較すると、男女とも各部位においてほぼ同等であるが、男性の肺、肝および肝内胆管、

女性の大腸（結腸・直腸）においてはやや低い傾向がある。（図 13）

図 13 部位別年齢調整死亡率：人口 10 万対（表 9 から作成）



※ 国の値は、公益財団法人がん研究振興財団 「がんの統計' 19」(4 部位別年齢階級別死亡率(2018 年))より引用。

年齢別に見たがんの死亡

2018年のがんで死亡した方の年齢内訳は、男女ともに8割以上を65歳以上が占めている。また、40-64歳の年齢層も、男女ともに10~15%を占めている（図14）。

部位別の年齢階級別死亡率は、15-39歳

の若年層を見ると、女性の乳房、子宮がんで高く、30歳以降で死亡率が増加し始める。肺がんや胃がんでは比較的若年の55歳以上から、前立腺がんは比較的高齢の70歳以上から死亡率が増加している（図15）。

図14 年齢内訳（%）（表10から作成）

年齢階級	14歳以下	15-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
男性	4	40	1,206	3,075	5,982	10,307
女性	1	59	970	1,479	4,177	6,686

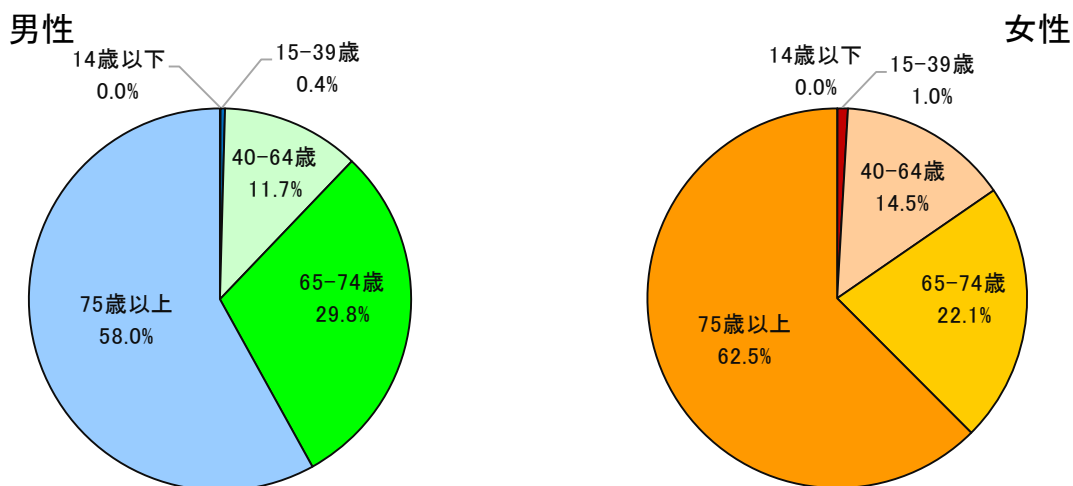
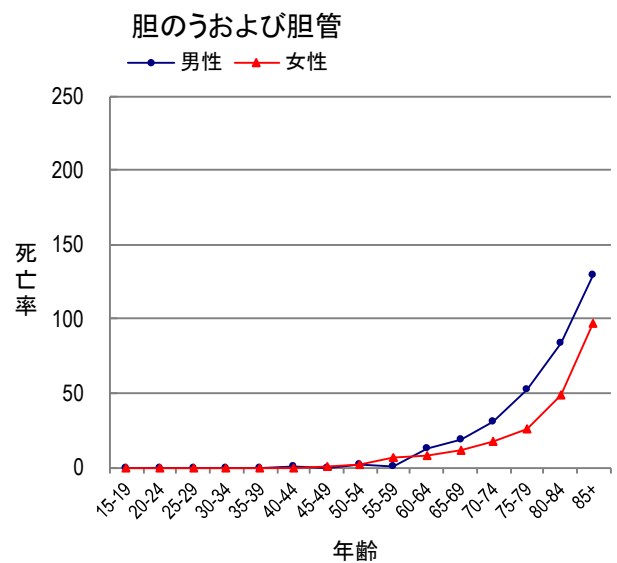
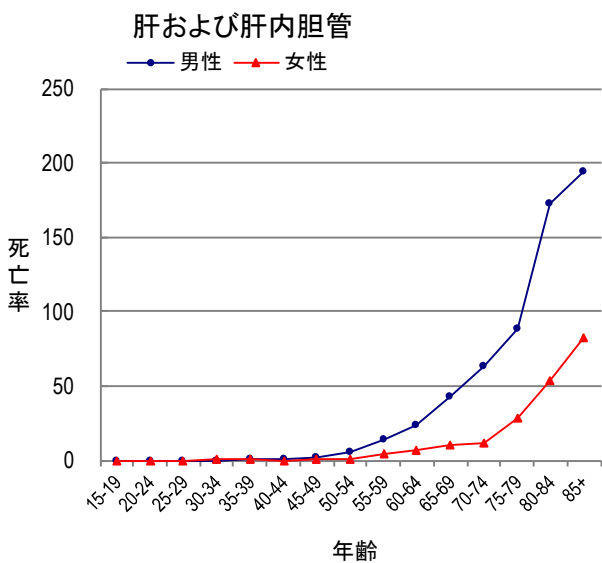
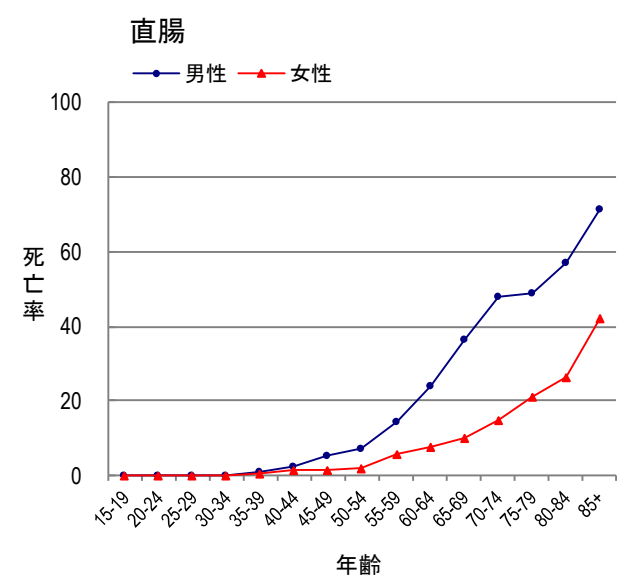
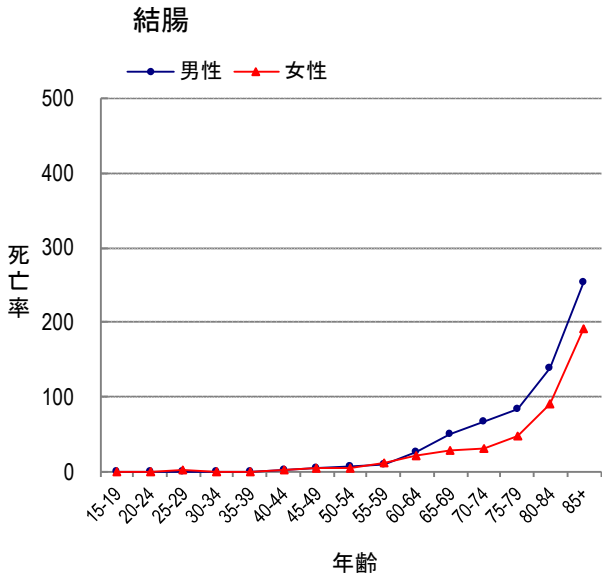
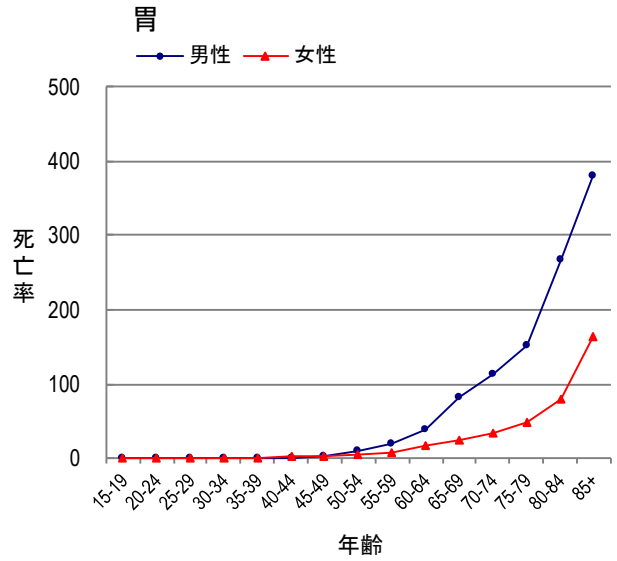
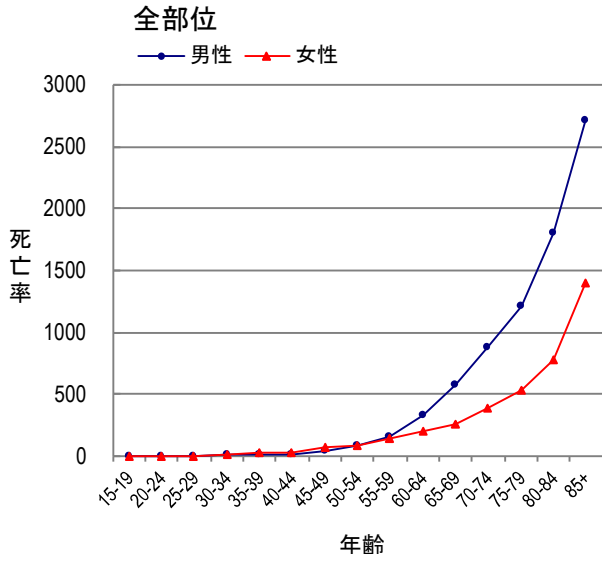
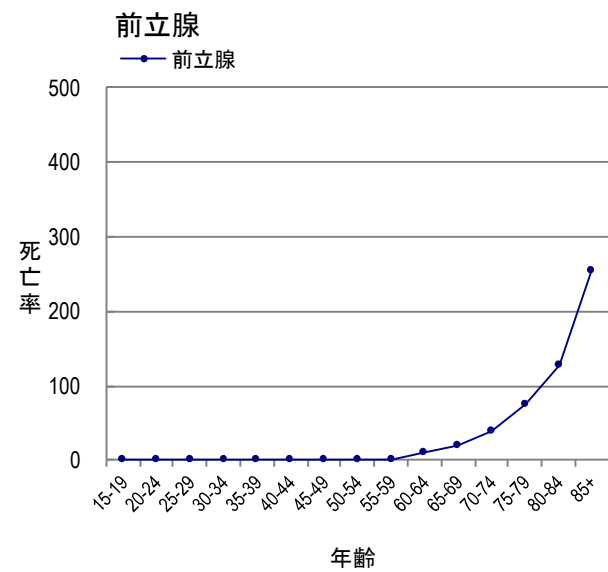
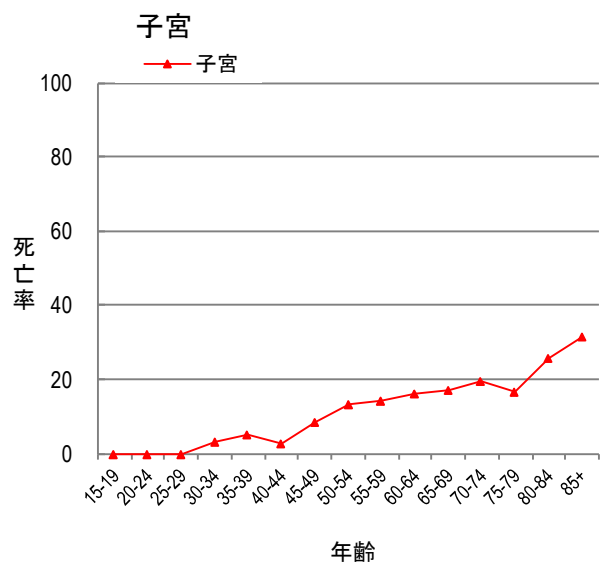
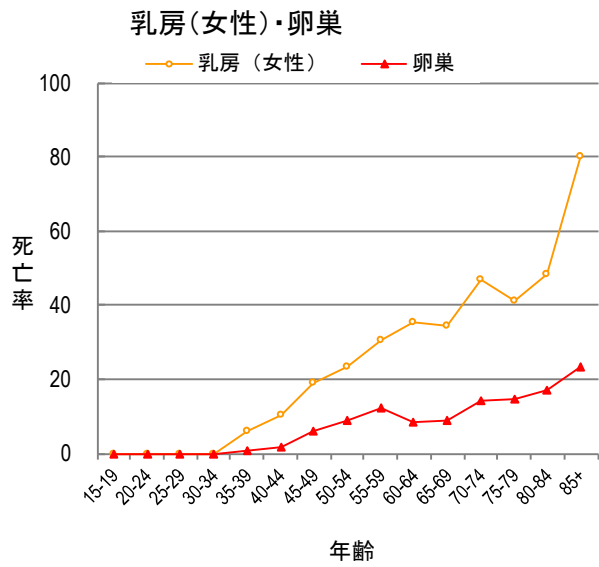
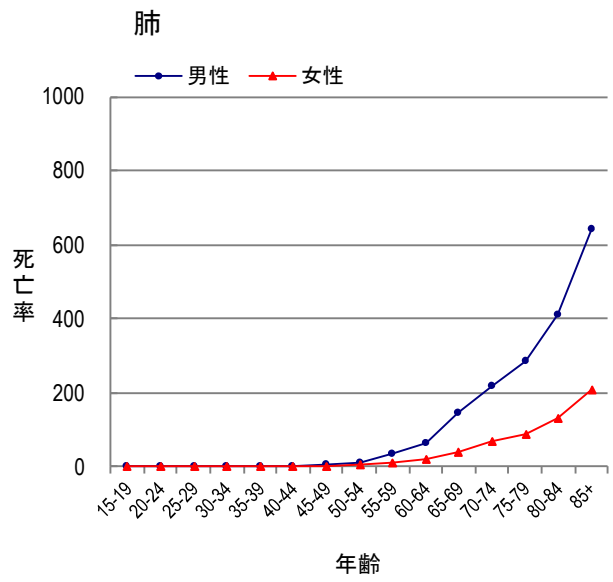
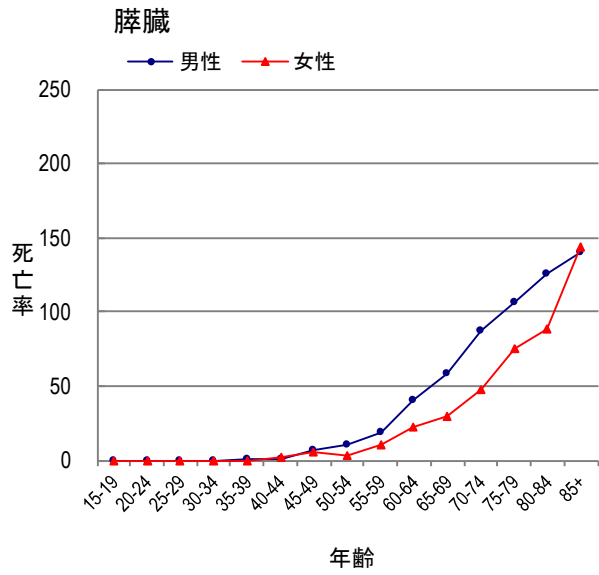


図 15 部位別年齢階級別死亡率：人口 10 万対 (表 11-2 から作成)





地域別に見たがんの死亡

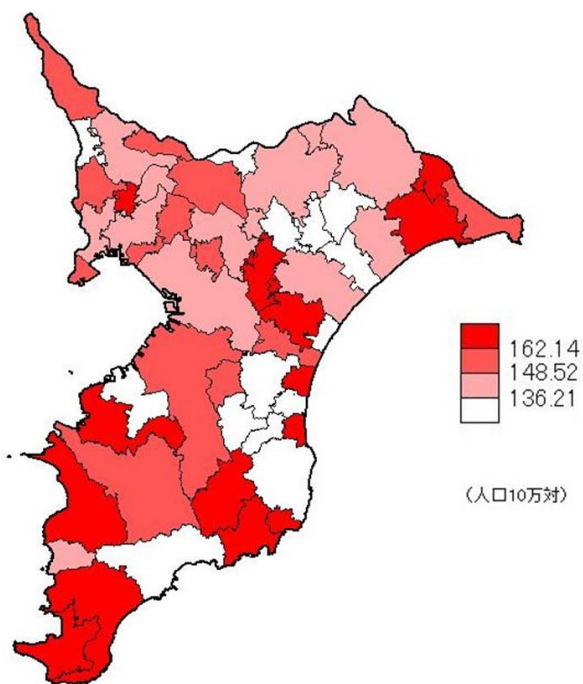
2018年の千葉県内の各市町村におけるがんの年齢調整死亡率の分布を示す(図16)。なお、階級区分は、全54市町村の年齢調整

死亡率(人口10万対)における四分位数(小さい順に並べ4等分する位置にくる3つの区切りの値)を利用している。

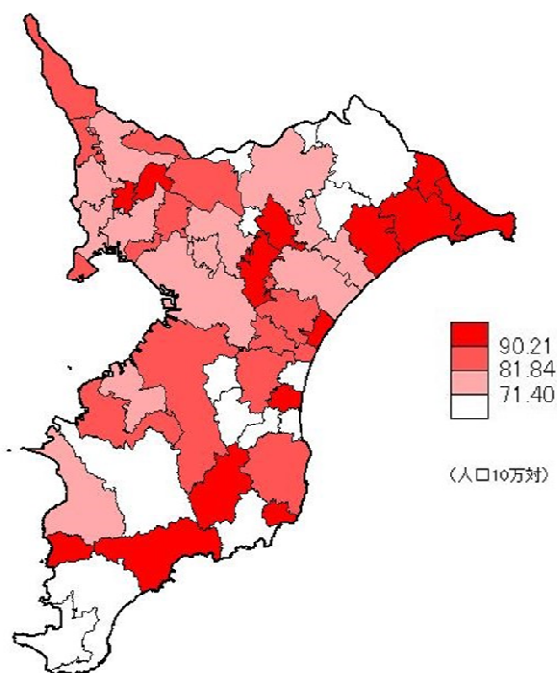
図16 年齢内訳(%) (人口動態統計から作成)

【全部位】

男性

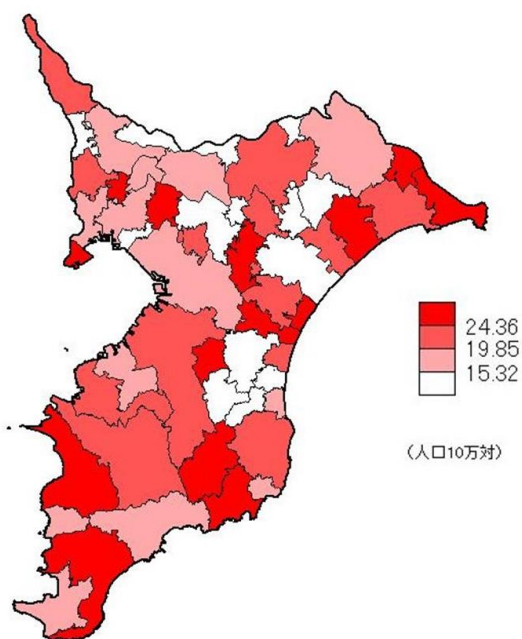


女性

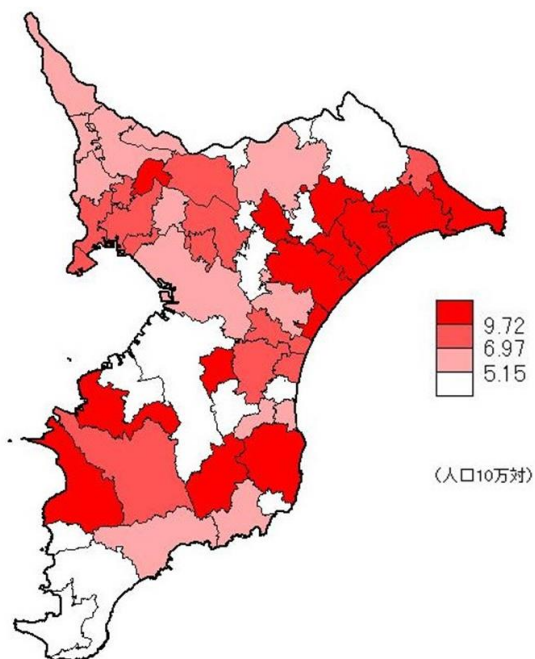


【胃】

男性

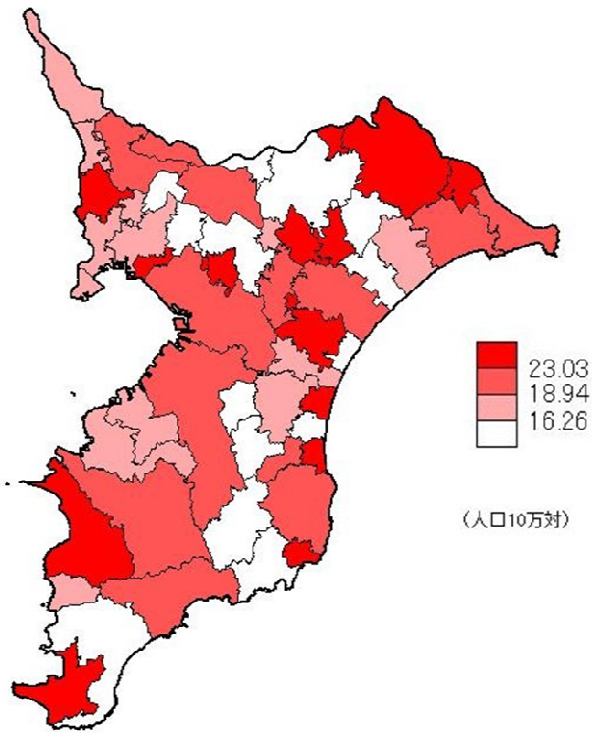


女性

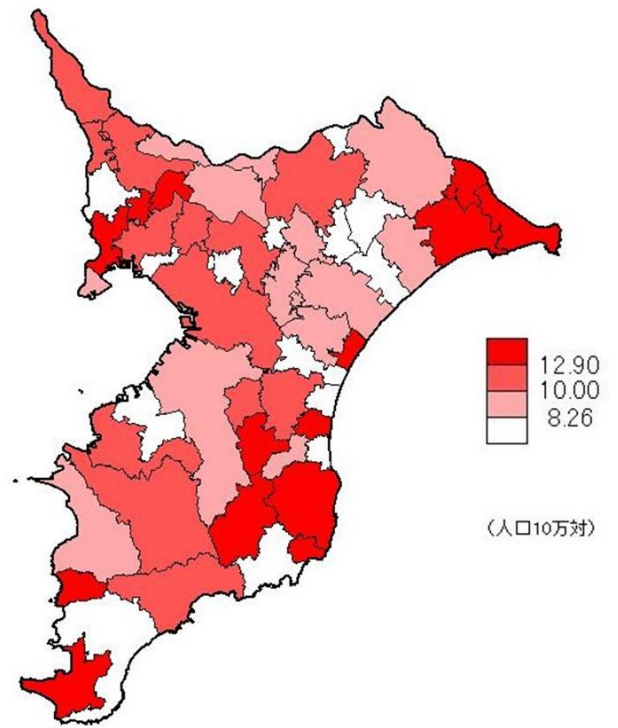


【大腸(結腸・直腸)】

男性

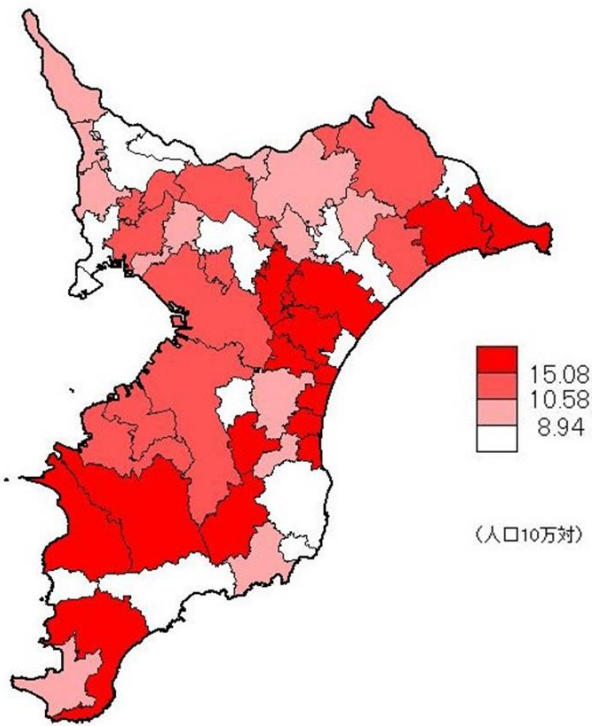


女性

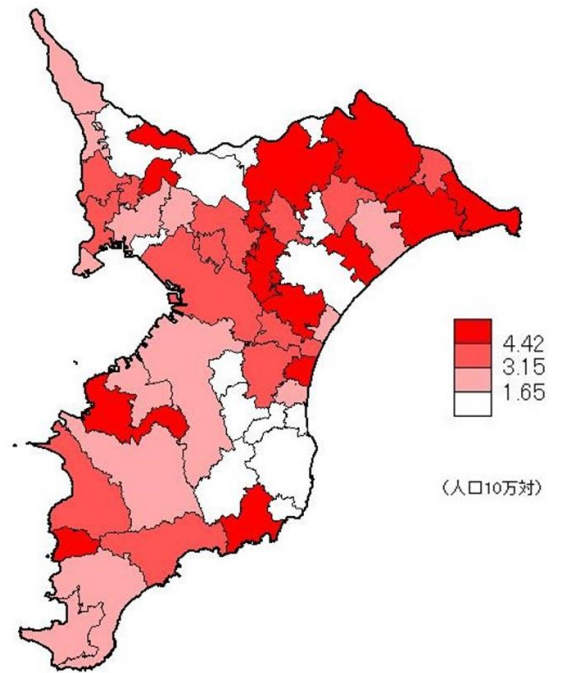


【肝および肝内胆管】

男性

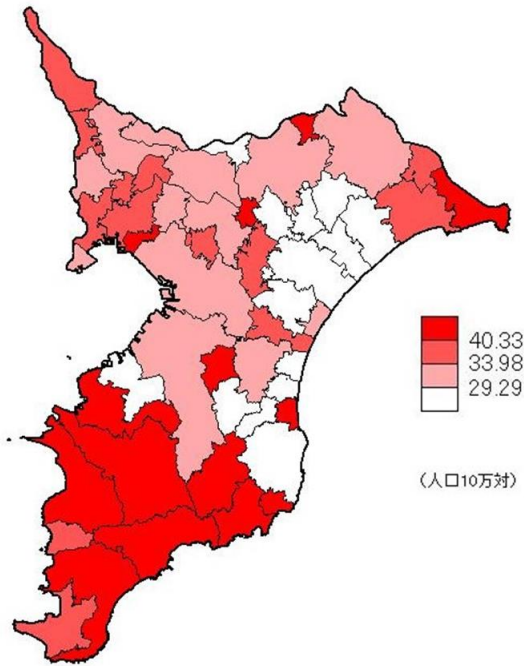


女性

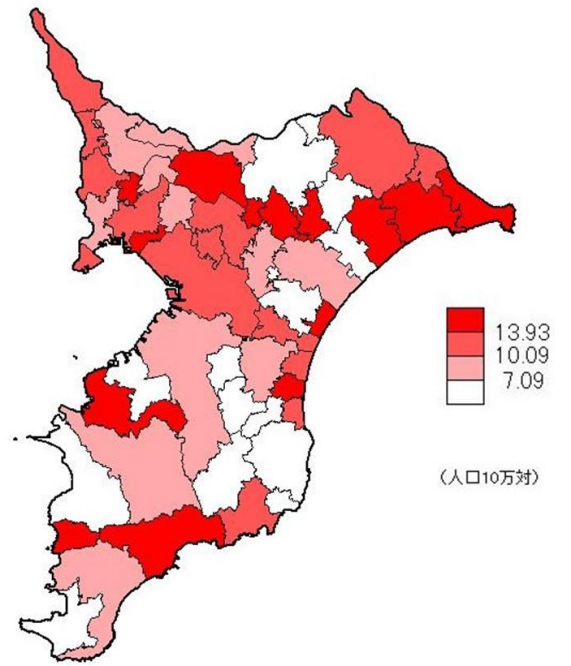


【肺】

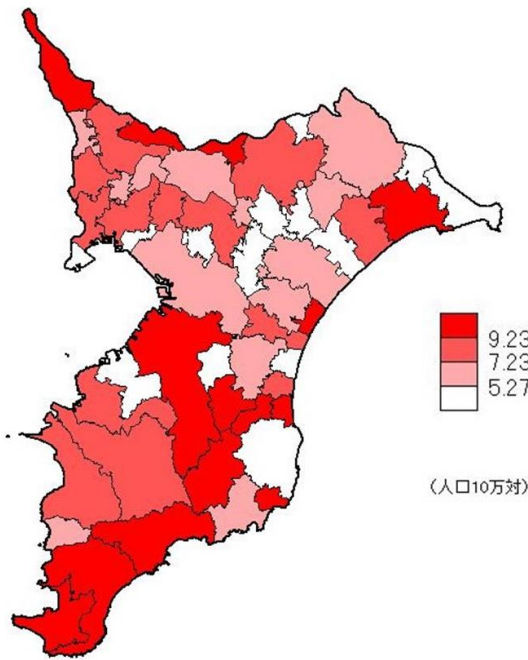
男性



女性



【前立腺】



【乳房(女性)】

